

[096] 語文研究表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/10170>

出版情報：語文研究. 96, 2003-12-26. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：



学会集報

蓮華寺と西湖

——石野雲嶺の風景——

金原 理

平成十五年度 九州大学国語国文学総会並びに研究発表会

於 九州大学留学生センター国際ホール

二〇〇三年六月一日(日)

第五十三回西日本国語国文学会

於 宮崎市民プラザ・宮崎女子短期大学

二〇〇三年九月二十日(土)・二十一日(日)

『和泉式部日記』

——敦道親王の「殺す」発言一考察——

吉牟田 佳代

〔公開講演〕

狂言ことばの変遷

〔研究発表〕

坂口 至

『源氏物語』 引歌の研究

——幻巻の一場面における引歌について——

下高原 翠

指示詞「カノ」について

夕顔以前の省筆

熊谷 政人

(九州大学関係者のみ)

指示詞「カ」系語について

熊谷 政人

狂言資料における当為表現形式

——カナハ又からナラ又へ——

松尾 弘徳

「もどり」と馬琴読本

——馬琴の『水滸伝』観の形成——

菱岡 憲司

再説・山口素堂と江戸の儒者

大庭 卓也

藤井懶斎の家系

勝又 基

戦中・戦後文学の基底

——中井正一・山代巴を中心に——

棚町 知彌

平成十六年度九州大学国語国文学会

総会並びに研究発表会のお知らせ

平成十六年度九州大学国語国文学会を、平成十六（二〇〇四）年六月六日（日）、九州大学留学生センター国際ホールにて開催いたします。多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

なお、研究発表をご希望の方は、発表題目を平成十六年四月末日までに九州大学国語国文学会までお申し出ください。

研究発表題目等の詳細につきましては、平成十六年五月中旬にあらためてお知らせいたします。

〒八二二 八五八一

福岡市東区箱崎六 一九 一

九州大学文学部内九州大学国語国文学会

(Tel・Fax: 〇九二 六四二 二三九五)

《規定》

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に投稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙二十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員四千元（各号一部配布）、通常会員二千元（各号一部配布）とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。